

第 6 委 員 会

【質問 1 「みんなが行きたくなる天王寺動物園について」】



私たちは、みんなが行きたくなる天王寺動物園について話し合いました。私たちは、動物たちとふれあい、暑い中でもすずしくなるようなイベントを企画すればみんなが動物園を好きになると考えました。

一つ目は、動物たちに水かけができるイベントがよいと考えました。例えば、白くまやアシカなどに水をかけてあげたり、逆にアシカが水にとびこんだ時に水しぶきがとんできたりすれば、夏の暑さを忘れて、すずしく感じると思います。

二つ目は、園内にいる動物たちのユニークな動きの動画や、かわいく愛嬌のある表情の画像を、SNSで発信し、園のポスターにも載せるなどして、アピールすればよいと考えました。多くの人が特徴のある動物の画像などにSNSで触れることで、実際にその動物を見たいと思いを足運んでくれると思います。

このような取り組みをすることでみんなが行きたくなる動物園になると思います。

私たち第6委員会のメンバーは動物園が大好きです。だから、たくさんの人にも動物園のよさを知ってもらいたいです。

私たちが考えた提案について市長の考えをお聞かせください。



【市長答弁要旨】

- 天王寺動物園は、平成28年に策定した天王寺動物園101計画に基づき、大都市大阪にふさわしい魅力あふれる動物園を目指し、できる限り自然に近い状態にするなど様々な改革に取り組んでいる。
- 暑い夏には動物たちを涼しく見ていただけるように、これまでもホッキョクグマにスプリンクラーで水のシャワーをかけたり、イベントとしては暦のうえで一番暑いとされる大暑の日に氷柱をプレゼントしたりしているが、来園者にも参加して涼んでいただけるようなイベントを考えていく。

- また、ホッキョクグマ舎やアシカ舎は80年以上前に建てられた古いもので、建替えを計画しているので、人と動物がともに水に親しめるような工夫を施設に取り入れたい。
- 次にSNSでの発信については、現在もブログ、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ等の媒体で、スタッフが動物たちの近況を写真や動画などで紹介しているので是非ご覧いただきたい。
- 今後は、より幅広い層に楽しんでいただけるように、内容や発信方法を工夫、充実させていくとともに、動物たちの動きをリアルタイムで見えていただけるようなコンテンツを取り入れていきたい。
- 最後に、これからも進化し続ける天王寺動物園にどんどん足を運んでいただき、いろいろな意見を出して魅力あふれる動物園づくりに協力していただきたい。
- 天王寺動物園がこれからも大都市の動物園として多くの人に愛される動物園を目指していく。

【質問2 「きれいな水・安全な水・おいしい水が飲めるようにするための取り組みについて」】

私たちは、きれいな水・安全な水・おいしい水が飲めるようにするための取り組みについて考えました。

まず、びわ湖や淀川の水質をよくしていこうという意見にまとまりました。そのために自分たちができることとして、普段から水を汚さないように心がけ、生活排水に気をつけたり、ごみのポイ捨ての禁止を呼びかけたりするとよいと思います。

そのために、大阪市内で、川や湖のことを考えるポスターを作り、掃除を行うボランティアを募るとよいと思います。そうした活動を続けることで、びわ湖や淀川の水質に対しての意識が高まると思います。



次に、大阪の水は、すごくおいしいと言われていますが、どのくらい安全でおいしいのかを知りたいです。浄水場で淀川の水をきれいに行っていることは、社会科で勉強しましたが、多くの市民が安心できるように、その方法を大阪市の人々に広く知らせてほしいです。

もう一つ、川や湖をよごさないような決まりがいます。食事の後の洗い物は、先に油よごれを紙でふきとる、水をよごしたら罰金を払わないといけない、といった決まりがあれば、おいしい水が飲めると思います。

私たちの提案について、市長の考えをお聞かせください。

【市長答弁要旨】

- まず、淀川や琵琶湖をきれいにする活動ということだが、毎年7月は河川愛護月間と言って川をきれいにしようという取り組みが全国的に行われおり、淀川でもボランティアを募って河川敷の掃除をしたり、川の大切さをみんなと考えたりする取



- り組みが行われている。大阪市でも横断幕の掲示等により川にごみ等を捨てないよう啓発を行っている。皆さんが言ってくれたようにもっと広く知ってもらえるように引き続き取り組んでいく。
- 二点目の、水道水がどれだけおいしいか、どうやってみんなに知ってもらおうかということだが、大阪市の水作りは、オゾンや活性炭といった世界最高水準の高い技術を使って目に見えない汚れやかびの臭いを取り除き、安全でおいしい水を作っている。
- このことを多くの市民の皆さんに知ってもらえるように、浄水場見学や出前水道教室で水づくりや飲み比べを体験してもらったり、「じょう水ジョーと大阪水フレンズ」というアニメをユーチューブで配信しているので、これらをもっとたくさんの人に広げていけるよう、工夫をしていく。
- 三点目の水を汚さない決まりについて、これは大阪市だけではなく、国を挙げて取り組んでいることでもある。水を汚さないことについて大事なのは琵琶湖、淀川の水を汚さないことである。琵琶湖のある滋賀県や淀川上流の市町村の役割が非常に重要である。
- 国では、湖や川をきれいに保つためみんなを守らなければならない決まりごとを法律として定め、上流の市町村では、その法律よりも厳しい条例という決まりをつくり、水をきれいに保つ取り組みを進めている。
- その決まりに違反し、工場から流す水で川を汚した場合に罰金を払わなければいけない場合があることも定められている。
- 皆さんも、上流の人たちと同じように川を汚さない気持ちを大切に、洗い物は先に油汚れを紙でふきとるなど皆さんができることを実践し、きれいな淀川、きれいな大阪湾をみんなで作っていきたい。